

事務事業名	滞納整理事務				担当	総務部 収税課 収納対策係		
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり			電話番号	0285 - 83 - 8489		
施策名	4	財政の健全化			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	国税徴収法、地方税法、真岡市税条例					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和29 年度～）		
予算科目	1.一般会計	2.総務費	2.徴税費	2.賦課徴収費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	市税等の納期限後、一定期間が経過しても納付されない場合は、督促状を送付し納税を促す。 督促状を送付してもなお納付されない場合は、文書・電話・臨戸訪問などによる納税催告を行う。 督促状・納税催告等による納税相談や納税指導を実施した後においても、自主的納付がされないか、極端に少ない場合は、不動産や債権などの財産調査を行い、財産があれば滞納処分（財産差押え）を行い、公平な税負担に努めている。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
22年度実績 市税等の納期限後、一定の期限を過ぎても納付が無い場合 督促状を送付（各税目・各期限） 納税催告（催告書送付・臨戸訪問） 納税相談・納税指導 財産調査 財産がある場合 財産等の差押え 差押え財産の換価 配当（収納） 財産が無い場合 滞納処分の執行停止 担税能力の回復無し 不納欠損		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
23年度計画 21年度に収税課が新設され、23年度は徴収体制を一層強化し、また、栃木県地方税徴収特別対策室に引続き職員1名を派遣し、県と協働して滞納整理・滞納処分を強化する。		ア 督促状の送付件数	件	61,549	61,113	74,850	66,134	65,000
		イ 納税指導件数	件	5,230	5,439	7,040	7,200	7,000
		ウ						
		エ						
		オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市税等の滞納者。		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア 市税等の滞納者数	人	7,158	7,952	8,382	8,176	8,094
		イ 現年分市税等の滞納額	千円	762,224	962,535	1,215,809	925,641	916,385
		ウ 滞納繰越市税等の滞納額	千円	1,689,832	2,222,895	2,737,424	2,889,058	2,860,167
		エ						
		オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 納税の公平性を確保し、納税意識の向上を図る。		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア 滞納処分金額	千円	111,000	117,666	382,075	409,762	420,000
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 滞納者及び滞納額を減少させ、市税等収納向上により財政の健全化を図る。		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア 現年分の市税等収納率	%	95.9	94.5	94.6	95.7	96.0
		イ 滞納繰越分の市税等収納率	%	10.5	9.9	14.6	12.7	13.5
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	4,643	4,262	4,399	4,923	0
		事業費計(A)	千円	4,643	4,262	4,399	4,923	0
	人件費	正規職員従事人数	人	7	7	10	11	0
		延べ業務時間	時間	14,492	14,168	13,892	14,042	0
		人件費計(B)	千円	60,707	59,194	56,346	59,931	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	65,350	63,456	60,745	64,854	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	納税の公平性を保ち、財源を確保するため法令等に基づき実施。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	納税は景気動向に左右されやすく、納税意識が低下している。 また、リーマンショック以降、なお続く景気低迷とリストラによって納税困難者が増加している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	納めやすい環境作り（納付期数・納付方法など）の要望がある。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平な税負担と財源の確保に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 納税義務及び徴収義務がある。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 対象者を滞納者に限った滞納整理である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 督促状・催告文書の積極的な活用等により滞納整理を強化する。 新たに公売に取り組む。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 市税等の収納率が下がる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 滞納整理に必要な最少限の事業である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 滞納整理を強化するために必要な人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担は無い。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							